

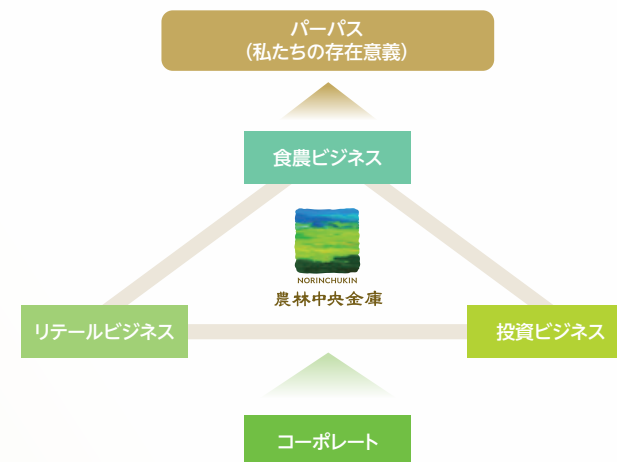
③ 私たちの事業領域

パーパス(私たちの存在意義)を実現していくための事業領域

当金庫は、農林水産業の発展に貢献する協同組織金融機関として、その使命を果たし続けるために、ビジネスモデルを柔軟に変化させてきました。

現在、そしてこれからの時代に向けて、私たちがパーパスを実現していくために、担う役割として主軸に置くのは「食農ビジネス」、「リテールビジネス」、「投資ビジネス」の3つのビジネス領域であり、これらを支えながら、新たな課題にも取り組む「コーポレート」が基盤にあります。

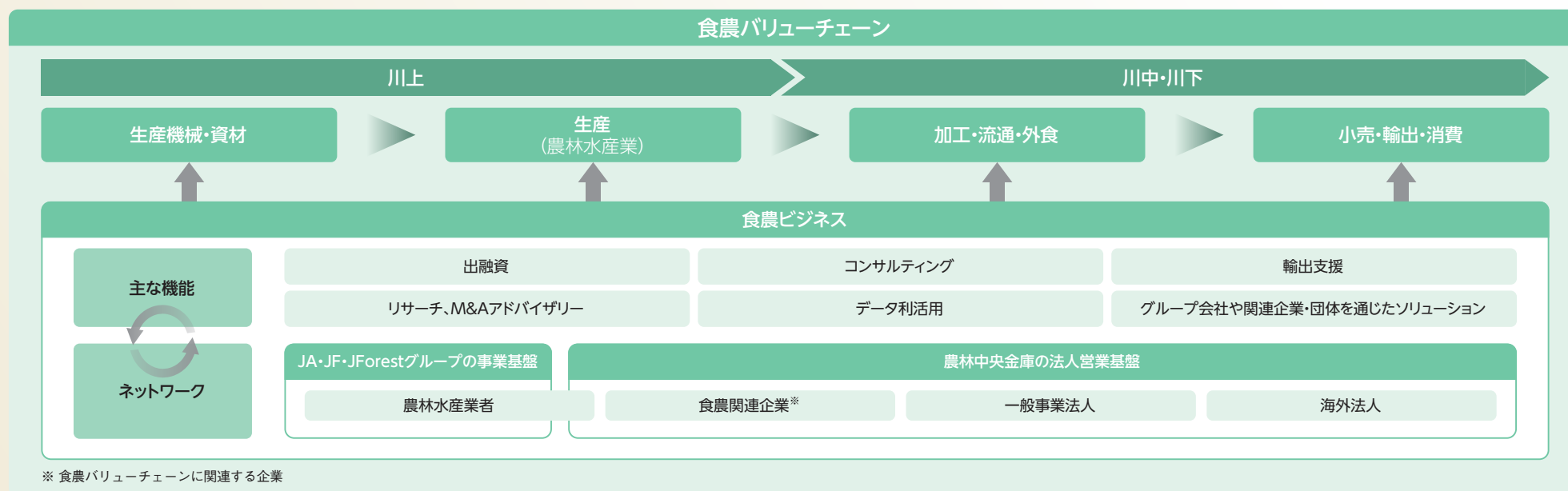
また、気候変動や生物多様性、そして循環経済から社会包摂まで、環境・社会課題の解決を目指すサステナビリティの取組みについては、ビジネス横断で対応を進めています▶P.45～50。



食農ビジネス

食と農林水産業のファーストコールバンクとして、お客さまの課題解決に取り組み、新たな価値を共創▶P.33～36

食農ビジネスは、JA・JF・JForestグループの事業基盤と当金庫の法人営業基盤を軸に、当金庫が有する金融・非金融機能をフル活用して、食農バリューチェーンの川上から川中・川下まで広くソリューションを提供するビジネス。



※ 食農バリューチェーンに関連する企業

③ 私たちの事業領域

リテールビジネス

JAバンク・JFマリンバンクの一員として様々な金融機能を提供

▶ P.37～40

リテールビジネスは、JAバンク・JFマリンバンクの全国機関として主に右記の役割を担うビジネス。



戦略等の企画・コンサルティング

- 総合的戦略として、全国レベルで「JAバンク中期戦略」、「JFマリンバンク中期戦略」を策定する。
- JAバンク・JFマリンバンクが提供する様々な商品・サービスを企画する。
- 組合員・利用者に対して「どのように商品・サービスを訴求していくか」をJAバンク・JFマリンバンク全体で考え、役割分担のうえ実践する。

インフラ機能の提供

- 全国のJA・JFなどが利用するデジタルインフラを運営するとともに、統一的な事務手続やマニュアル等を策定・提供する。
- 他金融機関との決済ネットワークを提供する。

経営指導

- JA・JFの自主性を尊重しつつ、個々の組織がとるべき経営戦略の明確化を促し、取組みを後押しする。
- 「JAバンク基本方針」「JFマリンバンク基本方針」のもと、一定の基準に該当したJA・JF等に対して必要な経営指導や支援等を行う。

その他役割

- 法令・制度等への対応として様々な取りまとめや外部機関・行政等への報告を行う。
- 災害発生時などの緊急時には全国のJA・JFを取りまとめ、対応策を検討し実践する。

投資ビジネス

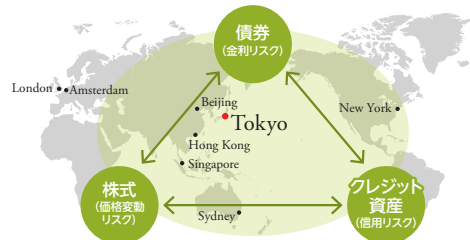
JAバンク・JFマリンバンクの運用の最終的な担い手として安定した収益を追求

▶ P.41～44

投資ビジネスは、会員から受け入れた資金をもとにした国際分散投資と、グループ会社と連携した資産運用ビジネスを通じて得た収益を会員に還元し続けていくことを目的としたビジネス。

国際分散投資

グローバルなネットワークを構築して国際分散投資を実施



資産運用ビジネス

グループ会社5社を中核とした資産運用ビジネス



農中信託銀行株式会社



コーポレート

3つのビジネスを支える機能の提供に加え、新たな課題にも取り組む

▶ P.52～68

コーポレートは、当金庫が価値を生み出す3つのビジネスを展開するための基盤。

コーポレートの主な機能

事務・IT

リスク管理

リーガル

財務会計

監査

経営管理

本誌では、コーポレートの主な取組みとして、リスク管理▶P.52～54、コンプライアンス▶P.55～56、IT・DX▶P.57～58、サイバーセキュリティ▶P.59、人的資本経営▶P.60～68を紹介しています。